



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2023年3月31日
株式会社西武ホールディングス
農林中央金庫

株式会社西武ホールディングス・農林中央金庫による サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

株式会社西武ホールディングス（代表取締役社長：後藤高志、以下「西武ホールディングス」）と農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本契約」）を本日締結いたしました。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件と SPTs の達成状況を連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促進するとともに、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長支援を目指すものです。

西武グループは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。特に、事業を通じて対応すべき項目を「アジェンダ（重要テーマ）」として設定し、積極的に取り組んでいます。2021年5月に発表した中期経営計画（2021～2023年度）では、西武グループの飛躍に向けた改革のための重要な柱の一つに「サステナビリティ」を掲げており、特に喫緊の社会課題である気候変動への対応を加速すべく、本契約に基づく資金借入を通じて、グリーン経営をさらに強力に推し進めてまいります。（西武グループサステナビリティアクション：<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>）

農林中央金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。また、2021年5月に発表した中長期目標のなかで、2030年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を10兆円とする目標を設定するなど、サステナブル経営に向けた歩みを進めており、西武グループが推進するサステナビリティ経営の理念にも共感しています。本契約に基づく資金供給を通じて、西武グループの気候変動問題解決に資する取り組みを支援してまいります。

なお、本契約では、西武ホールディングスが CDP ^(注1) 気候変動スコアで「リーダーシップレベル（A、A-）」を獲得することを SPTs に設定いたしました。

また、本契約の締結にあたっては、SLL 原則等への適合性について、農林中央金庫が外部評価 ^(注2) を付与しており、上記 SPTs については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則等に適合していると評価されています。

【本契約の概要】

| | |
|-----------|--|
| 実行日 | 2023年3月31日 |
| 融資期間および金額 | 契約① 8年 40億円 契約② 9年 40億円 契約③ 10年 40億円 合計 120億円 |
| 資金使途 | 長期運転資金 |

以上

^(注1) CDP：気候変動など環境分野に取り組む国際的な非営利団体。機関投資家の要望を受け、気候変動等に関する質問票を世界の主要な企業へ送付し、収集した回答を分析・評価・開示している。

^(注2) 農林中央金庫では、SLL にかかる借り手の SPTs の野心性等を評価する独自の融資フレームワークを設けています。本フレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、「グリーンローン原則」、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022年版」に対して総合的であるとの第三者意見を取得しています。